

# 西南学院大学 図書館報

No. 70

昭和51年10月21日発行

福岡市西区西新6丁目

西南学院大学図書館

## 「本の本」

名誉教授 アルマ O. グレーヴス



私が子供の頃通っていた学校は、家のすぐ近くにありました。その学校の敷地となった土地は、昔はグレーヴス家の土地で、五代にわたってうけつがれておりましたが、祖父の代になって、教会、学校、そして墓地の敷地として寄贈された土地の一部です。現在でも、教会は墓地と共に残っていますが、学校の方は町の学校と統合されました。

この学校には図書館がありましたが、子供ながら私は、すっかり、それに魅了されたものです。そこにある本を全部読んでしまおうと心に決めたときの心弾む思いは今でも忘れることができません。

さて、本を一冊残らず読んでしまうというのは、なかなかの仕事でしたが、また大変楽しいことでもあり、夏休みいっぱいかかって最後の一冊まで読み終えたのです。

中学校に入学する少し前、私は、キリストを信じるようになり、もう一冊の本、即ち聖書が私にとって大きな意味を持つようになりました。それは私の生涯の導き手でありました師となったのです。キリスト教信者にとって聖書は、「人間の行為、信条、宗教観を照らす最高の基準となるもので、イエス・キリストがその解釈の鍵」となります。聖書の解釈は、聖霊によってあなたの身に現実の人として現われるキリストを中心にしてなされなくてはなりません。

聖書には、色々な翻訳があります。ご存知のように、元来、旧約聖書はヘブライ語で、また新約聖書はギリシア語で書かれました。私が親しんでいる聖書英訳版は、キング・ジェームズ版と呼ばれ、その英語は、ウィリアム・シェイクスピアの劇の中で使われているものと同じです。キング・ジェームズ版の中で、シェイクスピアに関連して面白いことに気がきました。詩篇46篇の中の単語を最初から順に数えていくと、46番目に、シェイク (Shake) という単語にぶつかります。また、終りの方から初めに向かって数えてくると、46番目に、スピーア (Spear) という単語に出会います。この奇妙な一致は、シェイクスピアの46才の誕生日を記念して、キング・ジェームズ版の筆者が故意にしたものと信じられています。Paul S. James 博士は、なぜ人々が、聖書を、神の人間に対する呼びかけであると信じるのかについて、その七つの理由をあげています。

まず、その証しによって、です。それは何かといいますが、聖書がそれ自身について語っていることによって、ということです。ペテロ第二の手紙(1:20, 21)には、次のように述べられています。「聖書の預言は全て、自分勝手に解釈すべきでないことをまず第一に知るべきである。なぜなら、預言は決して人の意志からでたものでなく、人々が聖霊に感じ、神によって語ったものだからである。」このように、聖書が、超自然の神のメッセージとして、私たちに与えられたのです。

第二に、その権威によって、です。クリスチャンの信頼する権威は、自分自身の良心や、法律や、教会にはなく、むしろ聖書にあります。神の権威は、詩篇 101:7 などにも示されています。「欺くことをするものは、わが家のうちに住むことができません。偽りを言う者は、わが目の前に立つことができません。」

第三に、その正確さがあげられます。「聖書の細部にわたって、どの部分をとってみても、現在広く認められている科学の結論と矛盾するところはない。むしろ、科学が、更に新しい真理を発見するように望まれているのである。」Harry Rimmer 博士は、聖書に科学的誤りのあることを指摘できた者には1,000ドルの賞金を与えると申し出ました。この賞金は、ここ何年にわたって有効ですが、まだ、だれ一人として賞金を請求したものはありません。

第四に、その預言の故です。聖書の中の第一の預言は、キリストについての預言です。(創世記3:15) キリストについての預言がなされてから幾世紀も経った後、預言は成就されました。4,000年を経

て、神は、ユダヤ人の人々にみ業をなされたのです。この、成された神のみ業を見ると、私たちは、これからもみ業がなされるであろうことを信じることができます。即ち、教会の、救いによる昇天、大トリビュレーション（終末のときの、恐しい災い）、1,000年にわたるキリストの君臨、死者の審判、救われなかった者の永遠の苦しきと、救われた者の喜びなど。

第五に、その一貫性によって。聖書を構成する66冊の本は、1,500年にわたる年月のうちに、40人の筆者によって書かれましたが、そこには、神の救いのご計画が（主イエス・キリストの血による人間の罪のあがない）一貫して表わされています。私たちの主イエス・キリストが、聖書の中心の人物なのです。

第六に、その持続性のゆえに。何百年の歳月を越えて、聖書は私たちに伝えられました。聖書は、あらゆる国々で加えられた迫害に耐えて生き残ったのです。今日でも聖書は、世界のベストセラーであり、またそれは、世の唯一の光なのです。

第七に、聖書の持つ力の故に。聖書は、救いに対して、私たちの目を開いてくれます。それは、私たちの考えを見抜き、心を理解するのです。

Shlomo Hizak もしたように、私も、皆様に次のことをお勧めします。

聖書を、じっくり、度々、そして祈りをこめて読みなさい。

賢くなるために聖書を読みなさい。

安く生きるため聖書を読みなさい。

神聖であるために、聖書を行いなさい。

グレーヴス先生は宣教師として昭和13年より本学でシェークスピアを中心に英語・英文学を教えられて30数年。先生が手がけられたシェークスピア英語劇は今年で28回目を迎え、当学院の重要な年間行事の一つになっている。みんなから敬愛された先生も本年9月で退職され、この号が出た頃は故国ルイジアナに向けて出発されます。（編注）

参考図書紹介 その③

新聞記事索引 —新聞の利用—

参 考 係

朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、西日本新聞（昭43~44年のみ）、日本経済新聞、各紙の縮刷版には、巻頭にその月の重要日誌と主題分野別の記事索引がある。特に日本経済新聞の縮刷版には、1973年1月号から主題分野別の索引のほかに、件名の50音順インデックスと広告索引があり、使い易く便利です。またこれとは別個に1年間の累積したものに次のようなものがあります。

1) 朝 日 新 聞

1. 朝日新聞に見る日本の歩み

大 正 篇 1~5

昭 和 篇 1~11 (昭29年) +

2. 朝日新聞の重要紙面である (年刊) 1972 ~ '75年 +

その他 本館には所蔵していないが、  
ニュース・イヤブック 朝日新聞の索引と抄録  
がある。これは朝日新聞の1年間の記事と、おもな広告の索引、抄録誌。近々購入の予定です。

2) 毎 日 新 聞

1. 毎日ニュース事典 (年刊) (毎日新聞記事抄録) 1973~'75年 +

毎日新聞 (東京版) に掲載されたニュースと、それに関連した記事の大部分を一つ一つ簡潔な抄録にまとめ、適切な見出し語をつけて、見出し語の50音順に配列したものを。

3) 読 売 新 聞

1. 読売新聞の重要紙面 (読売年鑑別冊) 1969 ~ '75・8 +

その他 新聞月報 (新聞月報別冊) 年報 1969 ~ '75年 +

内容を政治、国際、経済・労働、社会・公害に分け、朝日、毎日、読売、日本経済各新聞の掲載記事。

新聞集成 明治編年史 (文久-明治45年) 15巻

” 大正編年史 (刊行中)

” 昭和編年史 (刊行中)

4) New York Times Index

New York Times の記事の主題別索引抄録誌で、記事の抄録と、その記事の掲載月日、紙面のページ、欄がわかるようになっている。本館には所蔵していないが、福岡アメリカン・センター に所蔵しているので紹介します。日付がわかれば、本紙は当館に所蔵しています。

また The Times の Index として The Official Index to The Times もでている。

以上の資料から、求める記事の日付がわかれば、本紙、縮刷版等のその新聞の記事をみることができます。

主要新聞の所蔵

朝 日 新 聞	昭25年一 (縮刷版)	西 日 本 新 聞	昭25年一 (現 物)
毎 日 新 聞	昭25年一 ( ” )		(昭43年-44年は縮刷版)
読 売 新 聞	昭44年一 ( ” )	日 本 経 済 新 聞	昭30年一 (縮刷版)

(縮刷版は大体2~3カ月遅れできます。縮刷版のある新聞についても、現物は1年間ぐらい保存しています。)

New York Times (A)	1962 — (現 物)	Die Welt (G)	1963 — (現物)
Times (E)	1962 — ”	Le Monde (F)	1963 — ”
Guardian (E)	1974 — ”	Financial Times (E)	1974 — ”

## 言語と文化

文学部教授 太田和男

フランスのテレビにも、映画番組は少なくない。ただ、日本の番組と違うのは、一人の解説者が紹介する形ではなくて、多くの場合、その映画の主題に関係のある学識者をまじえた、数人の出席者による討論会（デバ）が、放映の終わったあとに続くことである。これは、フランス文化のサロンの伝統の現代版ともいえよう。日本のテレビにない番組では、たしか「アポストロフ」という題の、新刊書について語り合う書評番組があった。こうしたテレビ番組の違いは、日本とフランスの文化の違いを反映している。

フランス人は話し好きだ（フランス語の *discuter* という動詞は、「話す」とほとんど同義語に用いられる）。彼らは、日本人よりも、言語による表現を重んじ、筋道を立てた議論を好むように見える。

言語構造の違いの例として、日本語の「はい」と「いいえ」は、事実の肯定と否定を表わすのではなく、話相手に対する同意と不同意を表わす<sup>注1)</sup>

日本人がよく失敗するのに、相手に対する同意を示す「no」の使い方がある。（フランス語では「non」）。フランス人の日常会話では、「寒い」というとき「Pas chaud」（暑くない）ということがある。あるとき、フランス人にそういったら、「Non」という答が返って来て面くらったことがあった。これは、日本語の応答詞の習慣のせいだ。

現実を共通の対象として捉え、肯定的事実か否定的事実かを、話相手に対する同意・不同意とは関係なく表現できる言語体系は、日本人ほど相手に気兼ねなしに話せる対話の場を作り出すのではないだろうか。西洋人は、激しい議論の後も、お互いの立場にこだわらず、仲よく握手することができるというが、彼らにとって議論とは、共通の客観的結論を出すための一過程にすぎないのであろう。

ことばには、ものを「伝える」働きの外に、ひとと「話す」働きがある。こういうと、当り前に聞えるかもしれないが、言語の役割はそれほど簡単ではない。ヤコブソンの分析によれば、言語には6つの機能があるという。<sup>注2)</sup>

たとえば、「寒いですね」ということばは、気象に関する物理的情報の伝達を目的とする「関説」（*referent*）的機能よりも、対話者との心理的交流を促進する「接触的」（*phatique*）機能に比重がある。<sup>注3)</sup>「釣れますか」などということばも、相手との接近を計るためのことばであらう。

人を近づけ、人と人とを結びつけるこうした、ことばの働きを、フランス人は、日本人よりも広範囲に活用しているように見える。たとえば、階段で見知らぬ人とすれ違ったとき、「Monsieur（あるいはMadame）」と声をかけることがある。ある晩、下宿のエレベーターから降りるとき、乗合せた若い女性から、「Bonsoir, Monsieur.」といわれてまどついた経験がある。こうした例は、言語を含めた文化的な行動様式の違いを示している。

母国語による思考様式や自国の文化的類型の影響から離脱することは困難である。森有正氏といえば、小学校の時からフランス語を習って、パリの「シテ・ユニヴェルシテール」（国際的な学生会館群）の日本館長を今年7月まで勤めたほどフランス語の達人な方だが、

「日本人の話すフランス語は、フランス語ではなく日本語であり、同様に、フランス人の話す日本語は、フランス語であって日本語ではない。」

といわれた。<sup>注4)</sup>

(Septembre, 1976)

注1) 南 不二男「現代日本語の構造」参照。

2) R. Jakobson, *Linguistics and Poetics*.

3) Malinowski の用語（語源はギリシャ語の *phanai* 「話す」）。cf. *Lexis* (Larousse). — なお、昨年出版されたこの辞書は、フランス語の一般的辞典としては、初めてこの専門用語を収載したものである。

4) 在仏日本人会主催講演会（7月8日、ホテル日航）。

## ☆ニュース・お知らせ・NEWS☆

## ＜新図書館委員紹介＞

教養部 森 泰男先生  
 神学部 R. H. カルペパー先生  
 文学部  
 英文 真鍋 誠先生  
 仏語 有田忠郎先生  
 商学部 辻 和夫先生  
 経済学部 吾郷健二先生  
 法学部 田村茂夫先生  
 (任期 51.7.1~52.6.30)

## ＜図書館委員会＞

- ① 51.6.30
- ・西南学院大学研究図書整備費補助金(研究助成)申請に関する審査について。
  - ・51年度資料費確定配分について。
  - ・大学院資料費予算の配分について。
- ② 51.8.2
- ・研究助成について
- ③ 51.9.6
- ・大学院学生の図書館利用に関する暫定特別措置の改正について。

## ＜研究・出張＞

- ・51年度私大図書館総大会 於・日大経済学部 51.7.22~24 刀根司書長出席
- ・51年度文部省委嘱「司書講習」於・別府大学 51.7.15~9.10 荒川司書受講
- ・51年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会福岡地区第1回研究会 於・九州産業大学 51.7.26 今永係長出席
- ・51年度私大図書館協会西地区部会九州地区協議会および研究会 於・長崎造船大学 51.9.10 倉光司書出席

## ＜電算機による雑誌リストの編集＞

雑誌の諸種リストを電算機より出力し各閲覧室、学研に備付けていますので、ご利用下さい。

## ＜就職試験問題集は＞

国家公務員、ガイド検定試験などいろいろな分野の試験問題集が2階雑誌コーナーに備えてあります。簿記検定・税理士試験・会計士試験は3階の辞書棚にリザーブ図書としてあります。

## ＜投書箱の移動＞

要望や購入希望図書の申込者の為の投書箱を学習室入口においていましたが都合により2階受付のカウンターに設置することになりました。今後もご利用下さい。

## ＜大学院生の図書館利用、大幅に改正＞

1. 帯出冊数 10冊以内→20冊以内(未製本雑誌は2冊以内)
2. 帯出期間1カ月以内→2カ月以内、1回更新可能(未製本雑誌は11日間)
3. 参考図書室への入室ができる。
4. セルフ・サービスで文献複写(コピー)ができる。以上のとおり改善され、すでに実施しています。

## ＜英米文学・語学関係書誌ガイドブックの発行準備中＞

文学部ゼミナール連合会が、今度、図書館資料を効果的に利用するため標記のガイドブックを発行する準備をしています。10月下旬に発行の予定です。

## 告知板

- 大学祭中の開館時間  
11月10日(水)~13日(土)  
9.00~17.00(土曜12.00)
- 冬休長期貸出  
12月15日(水)~1月18日(火)  
冊数 学部学生 5冊以内 別科生 10冊以内
- 冬季休暇中の開館時間・休館日  
12月25日(土)クリスマス  
27日(月) 9.00~12.00 開館  
28日(火)~1月5日(水)休館  
1月6・7日(木・金) 9.00~17.00 開館  
8日(土) 平常開館 8.45~19.00  
1月10日(月)~2月7日(月)試験期の開館  
8.45~21.00
- 特別貸出について  
4年次生は卒業論文作成のための特別貸出をすることができます。通常の貸出のほかに3冊以内、期間は1カ月です。  
※12月14日以降は1月11日(火)が返却期限になります。  
大学院生(博士・修士)は、図書5冊、雑誌3冊の特別貸出をすることができます。期間は、図書2カ月、雑誌11日です。
- 卒論の閲覧手続について  
卒論作成の参考のため、図書館に保管されている諸先輩の卒論をゼミ担当教授の承認を経て閲覧することができます。希望者は予め受付で用紙をもらってください。なお、館外貸出はできません。請求番号は3階の目録カード(ゼミ別に配列しています)で調べてください。

## ＜あとがき＞

秋も深まり、秋の草花も咲き揃いましたが、生け花のお好きだったグレーヴス先生はもうアメリカ。帰国前のお忙しい時間をこの号にさいて下さって感謝いたします。又、フランスからお帰りになったばかりの太田先生にもご無理をお願い致し感謝しております。(Y.F.)

## 昭和51年度 指定図書リスト追補

(Reserved Books)

図書館報№69の指定図書リストに文学部児童教育科の分を掲載することが出来なかったため、ここに追補として作成しました。

文学部 (児童教育学科)	学校制度 仲新 (他)	第一法規
堺 太郎 <社会福祉学>	現代公教育論 伊藤和衛	教育開発研究所
福祉の思想 糸賀一雄	NHK	現代教育社会学の課題 稲井広吉 (他) 協同出版
解説社会福祉 一番ヶ瀬康子	医歯薬出版	教育社会学 清水義弘
厚生白書 昭和50年版 厚生省	大蔵省印刷局	上野 武 <保育学>
社会福祉六法 昭和51年版 厚生省	新日本法規	世界の幼児教育 小川正通
施設保育・養護の実際 小林提樹 (他)	日本小児医事出版	幼児の教育史 ラスク
佐藤千代吉 <教育社会学・教育制度>		幼児教育史 I・II 世界教育史研究会 講談社

## 受贈図書・資料目録 №12

自 昭和50年10月 至 昭和51年9月

(敬称略)

愛知県立大学・愛知県立女子短期大学より『愛知県立大学創立十周年記念論集』

愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所より『愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所年報第4号』

青山学院より『青山学院創立百周年記念論文集』

青山学院女子短期大学より『青山学院女子短期大学の歩み』

朝雲新聞社より『自衛隊装備年鑑1976年版』

防衛庁より『日本の防衛 昭和51年』

防衛年鑑刊行会より『防衛年鑑1976年版』

朝鮮国立中央図書館より『人民の自由と解放のために反帝闘争の旗を高くかかげて』2部・『キム・イルソン』・『キム・イルソン主席はアジアと世界を動かす人』・『キム・イルソンわが革命におけるチュチェについて1』

駐日大韓民国大使館より『平和統一の大道 (朴正熙大統領演説文選集)』3部・『Inside North Korea』・『Major Speeches』

中央線事業部より『北原白秋研究』

釜山大学校より『釜山大学校論文集 第19・20集』・『釜山大学校30年史』

福岡入国管理局より『出入国管理 昭和50年版』

福岡県より『郷土のものがたり第2集』

福岡県文化会館より『Catalog of PB & AD Reports. Jan. 1976』・『福岡県文化会館所蔵福岡県近世文書目録第4集』2部・『科学技術関係雑誌記事索引 №20 環境公書編1』

福岡県企画開発部より『市町村所得推計報告書昭和47

年度』

福岡県企画開発部調査統計課より『福岡県民所得報告書 昭和49年度』・『福岡県勢要覧昭和50年版』・『農業センサス報告書1975年』

福岡県教育委員会より『福岡県の民家』・『福岡南バイパス関係埋蔵文化財調査報告第3集』・『九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告7』

福岡県労働部より『福岡県労働経済白書昭和50年版』・『労働市場年報昭和47～49年度』

福岡県総務部地方課より『市町村決算の概要』昭和49年度 Fukuoka Prefectural Library より『Catalogue of Unesco Publications. Supplement 1974』

福岡市立教育研究所より『福岡市児童の地理的意識の発達に関する調査』・『班活動における児童の意識の調査研究』・『本市における幼児教育の実態と問題点』・『児童の体力の実態に関する調査』・『時間・空間のひろがりをつかませる地学学習指導』・『子どもの遊びと教師の意識について』・『好ましい人間関係を育てる学級指導の一考察』・『精神薄弱児教育における養護訓練指導の一試行』・『集団用自動教授方式 (CLI) を活用しての算数・数学教材プログラムの開発とその改善の試み』・『都市化と子ども (その2)』・『夜間定時制高校生の修学に関する研究』・『遊戯治療における治療者の内的過程の分析』

広島大学政経学部政治経済研究所より『ギリシャ国際政治史』

北海道より『北海道統計書第83回』

自由民主党広報委員会出版局より『国会成立法律要旨集

- 第77回]  
 講談社より『まぼろしの南方録』  
 角川書店より『日本近代文学大系 別巻』  
 関西大学広報委員会より『大学』  
 関西経済連合会より『中国の現状』本冊・別冊  
 川上宏二郎教授より『Economic Report of the President, February 1975』『International Economic Report of the President.』  
 慶応義塾より『慶応義塾年鑑 昭和48年度』  
 経済企画庁より『国民所得統計年報 1976』  
 健康保険組合連合会より『社会保障年鑑 1976』  
 建設省河川局より『海岸統計 昭和50年版』  
 木村毅教授より『労働問題研究の方法』  
 紀国屋書店より『暮らしの中の故事名言辞典』  
 国立公文書館より『太政類典目録 中』  
 国立国会図書館より『Annual report of the Librarian of Congress for the fiscal year ending, June 30, 1950』・『国立国会図書館所蔵雑誌目録 昭和50年末現在』・『Union Catalog of Foreign Books, 1973』  
 国立国語研究所より『日本語と日本語教育(文字・表現)』  
 国立民族学博物館より『国立民族学博物館研究報告 1巻 1号』  
 国立史料館より『史料館所蔵史料目録第24~26集』  
 国際電信電話K.K.より『わが国対外無線通信の黎明期』  
 甲南大学哲学研究室より『九鬼周造文庫目録』2部  
 熊本国税局より『熊本国税局統計書 昭和49年度』  
 京都府統計協会より『京都府統計書 昭和51年刊』『京都府統計書 昭和42年』  
 京都産業大学経済経営学会より『経済経営論叢第10巻第2、3号』  
 九州大学より『高橋義孝先生還暦記念論集ゲルマニステイクの諸相』  
 九州歴史資料館より『朝倉橋広庭宮跡伝承地第3次発掘調査報告』  
 松下電器産業より『新国土創成論』  
 村上隆大教授より『スコットランドの民話』3部  
 日米学生会議実行委員会より『近代化を問う』  
 日本万国博覧会記念協会より『日本万国博覧会記念基金 Fund ¥15,500,000,000』  
 日本弁護士連合会調査室より『弁護士業務ハンドブック』  
 日本保育協会より『保育百問百答一保育指導書3・4』  
 日本放送協会より『NHK放送文化研究年報 第21集 昭和51年版』  
 日本開発銀行より『日本開発銀行25年史』  
 日本観光開発財団より『Youngの旅』  
 日本民主同志会本部より『赤い故郷を捨てた人びと』2部・『日共リンチ殺人事件』  
 日本専売公社管理調整本部広報課より『たばこの話あれこれ』  
 日本私立大学連盟より『海外大学経営セミナー報告書 第3回』  
 日本輸出入銀行海外投資研究所より『実務家の見たわが国の海外投資』  
 西日本新聞社より『JBR 第12回1975』  
 岡山大学瀬戸内海環境改善研究グループより『瀬戸内海その環境と汚染』  
 大阪府立中之島図書館より『大阪本屋仲間記録第2巻』  
 大阪証券取引所より『大阪証券取引所統計年報昭和49・50年』  
 立教大学図書館より『立教大学所蔵愛知県関係文書目録』  
 労働省職業安定局より『労働市場年報 昭和49年度』  
 最首公司氏より『聖地と石油の国サウジアラビア』  
 生弓会より『本多流始祖射法解説』  
 生命保険協会より『昭和生命保険史料別巻(3)』  
 新谷正彦助教授より『鹿児島島の農事小組合』・『長野県の農事小組合』・『長野県産業組合史第3篇』・『日本産業組合教育史昭和15年9月』・『農家小組合に関する調査昭和11年12月』・『産業組合文獻目録大正15年11月』・『産業組合発達史 全5巻』  
 白水 昇氏より『筑紫の歴史と農業』  
 資生堂より『おしゃれの文化史』  
 証券投資信託協会より『証券投資信託年報 昭和50年版』2部  
 食糧庁より『異動人口調査結果表 昭和50米穀年度』  
 創価学会より『仏教思想と医学』・『革命の大河』・『戦争を知らない世代へ 15~19』  
 住友信託銀行K.K.より『住友信託銀行五十年史別巻』  
 Szarka, A. S. 氏より『Japan』・『The Western World and Japan.』  
 高千穂学園より『高千穂学園70年の歩み』  
 高田源清教授より『体系国民法学』  
 高木信治氏より『日本清涼飲料史』  
 高松基助氏より『古屋佐久左衛門伝』・『医傑・高松凌雲先生』  
 滝沢寿一教授より『水野忠敏教授・滝沢寿一教授退官記念ドイツ文学論集』  
 田村秀治氏より『イスラムの盟主サウジアラビア』  
 帝人株式会社より『帝人のあゆみ 10』  
 天理教教会本部より『天理教年鑑 昭和51年版』  
 東京大学経済学部より『東京大学経済学部五十年史』・『東京大学経済学部研究室所蔵社史・実業家伝記目録 昭和39年11月』  
 通商産業省大臣官房調査統計部より『商業統計表昭和47年第1~3巻』  
 横浜市立大学経済研究所より『京浜工業地帯公害年表 昭和45~47年』  
 雄松堂書店より『日本林制史調査資料総目録』  
 在日本朝鮮人総連合会福岡県本部より『キム・イルソン 上・下』  
 全国地方銀行協会より『日本・銀行会計制度史』  
 全国商品取引員協会連合会より『先取りの経済価格と商品取引所』8部  
 全国商品取引所連合会より『海外商品取引所関係資料集 第1集』・『商品取引所における投機の役割 昭和50年度』

